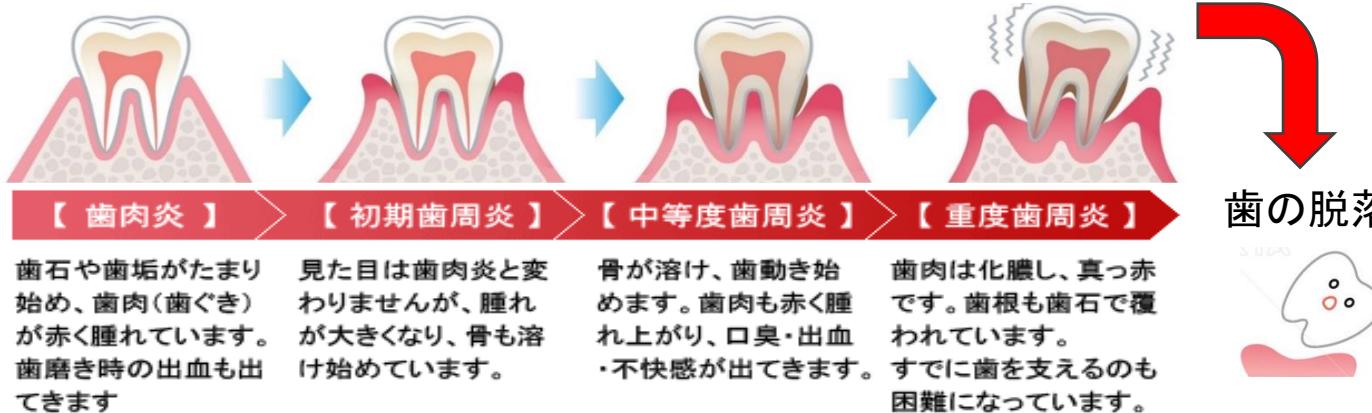




歯周病と全身疾患について

・歯周病の進行



・歯垢(プラーク)とバイオフィルムについて

歯垢(プラーク)とは、食物の残りではなく、細菌の塊です。ヒトのお口の中には約500種が住み着いています。歯の表面はペリクルという糖タンパクによって覆われており、これに細菌が付着していきます。多種類の細菌が仲良しのグループを作りながら次第に多く付着していくと、その中に水路網という栄養や老廃物が運ばれる道を作ります。そして特定の細菌達がムコ多糖というネバネバの物質を産生し、外部からの刺激に対し防御するようになります。人があつまり、建物、道を作り、外壁を作り街を作る、細菌も社会をつくるんです。これがバイオフィルムです。イメージとしては台所の排水溝や、三角コーナーのヌメリも、バイオフィルムです。それをお口の中に入れたくないですよね。

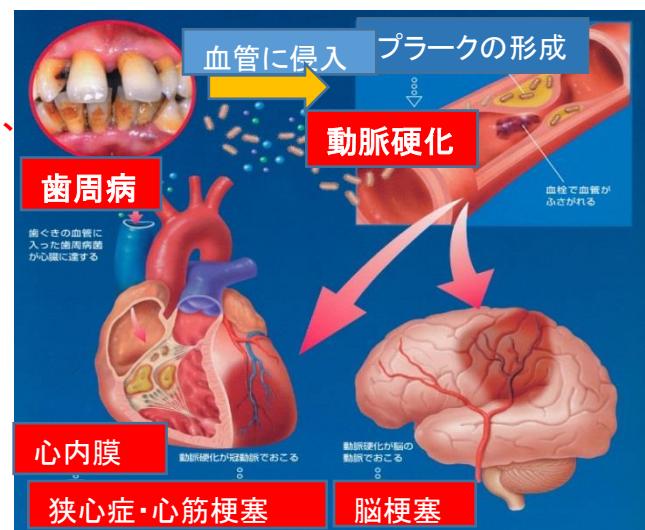
・歯周病と全身疾患



歯周病は全身の疾患と関連性があることが分かっています。列挙すると、**脳梗塞**、**心筋梗塞**、**動脈硬化**、**脳出血**、**糖尿病**、**心内膜炎**、**リウマチ**、**インフルエンザ**、**誤嚥性肺炎**、**アルツハイマー型認知症**などがあります。

歯周病菌がお口の中の血管から侵入し、全身を廻るようになると、血管内でプラークを形成し**動脈硬化**を引き起こします。それが、心臓であれば**狭心症**、**心筋梗塞**、脳であれば**脳梗塞**を引き起こします。

お口の健康を守ることは、全身の健康を守ることにつながるんですね。



<クリニックからのお知らせ>

うまく磨けない、歯茎が腫れている、違和感がある、血が出る、などご心配なことがあれば気軽にご相談ください。寒い時期が続きます。春までもう少し、しっかり食べて寒さを共に乗り切りましょう。

